

平成30年4月 市内各区長への**空家等**に関する調査依頼を実施

(前回の調査では、特定空家等に該当すると見られる空家等を対象としたが、

今回の調査では、**全ての空家等**を調査対象としている。)

○集計結果

程度の良い空家等も調査対象に含む

新規報告戸数 : **233戸** (合計報告件数 360戸、前回から引き続き報告 127戸)

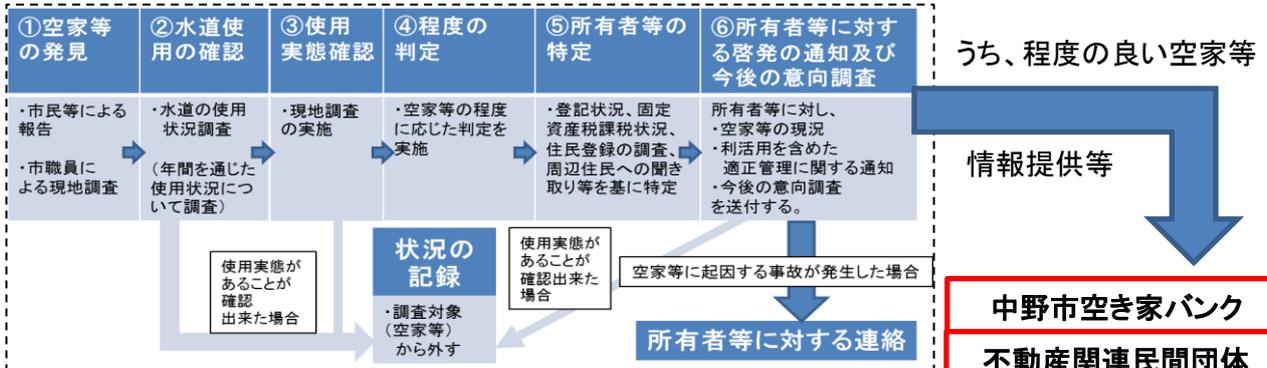
前回から引き続き報告のあった**127戸**のうち

市による前回調査の結果、空家等とみなさなかった数 **22戸**
(家屋の使用実態等があったため)

(H30再現地調査時 **残130戸**)



○今後の予定について



(図-7)空家等の調査及び所有者等に対する啓発活動実施までの流れ (中野市空家等対策計画より抜粋)

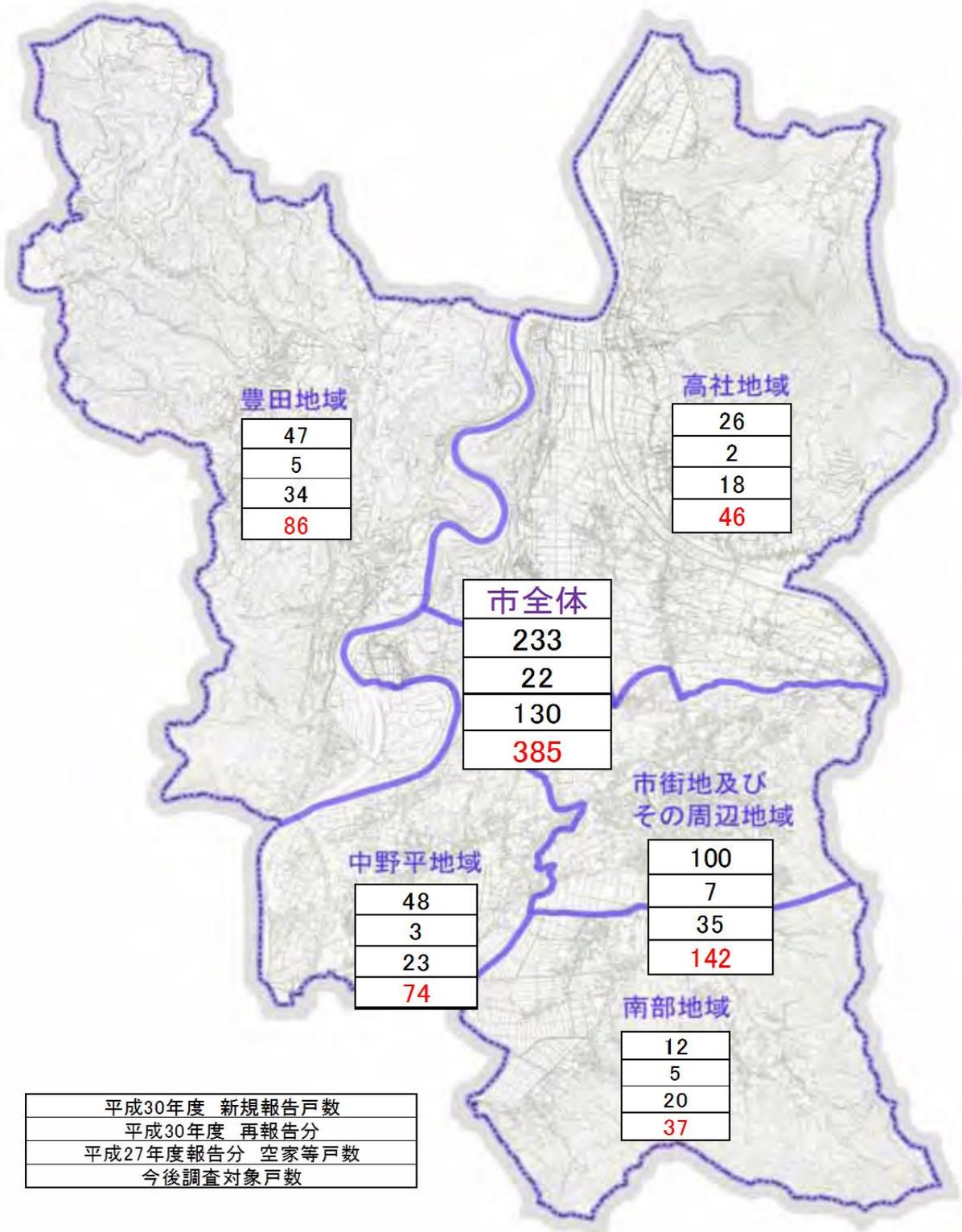
○今回、新規に報告のあった233戸の住宅等について

- ・水道の使用状況を調査を実施 ⇒ 水道の使用等がみられない場合は、現地調査を実施
- ⇒ 住宅等の使用実態がみられない場合は、空家等とみなし、所有者等の調査を実施。

○過去に空家等の対象から外したが、再び空家等として、報告のあった22戸について

- ・水道の使用状況を調査を実施 ⇒ 水道の使用等がみられない場合は、現地調査を実施
- ⇒ 住宅等の使用実態がみられない場合は、空家等とみなし、所有者等の調査を実施。

各地域毎における空家等の件数(平成30年度報告結果)



1段目の数値:平成30年度の各区からの報告において、新規に空家等として報告のあった件数
 2段目の数値:過去調査時、家屋の使用実態がみられた経過があるが、再度、報告のあった件数
 3段目の数値:2018年11月現在空家等とみなしている家屋等の件数
 4段目の数値:今後調査対象となる空家等及び空家等候補の件数
 今後の調査により確定予定